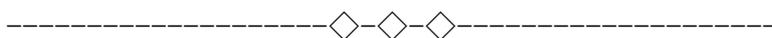


仙台フィル支援について

1 JOFCとして仙台フィル支援の取り組み

東日本大震災で被災し、演奏会場のが使用できなくなり、6月までの演奏会が中止となった仙台フィルハーモニー管弦楽団支援を、2011年4月6日、JOFCとして次のとおり支援することにしましたので、各クラブにつきましてもご協力くださいますようお願いいたします。



仙台フィル支援について

仙台フィル支援のための義援金募集について、JOFCとして以下のとおり取り組むことにいたしました。

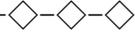
仙台フィルの現況につきまして、6月までの演奏会中止により事業収入がなくなり、経営的に大変厳しい状況となっているとのことで、直接支援することにします。

札幌交響楽団からも私たちの仲間を支援するために「仙台フィル支援」に特定した義援金募集して直接支援することになった。ついては、札幌くらぶと一緒にやりたい、との申し出があり、検討の結果、オーケストラを失うことは私たちの仲間のファンクラブをも失うことになる、したがって仙台フィルを直接支援しよう、直接支援することにより慰問コンサートの費用にも充てられる、ということになり札幌くらぶも札幌の申し出を受け、義援金募集活動はそれぞれで行い、義援金は札幌と札幌くらぶの連名で行うことになりました。

つきましては、JOFCとしても札幌と札幌くらぶの取り組みと同様の取り組みを各クラブにもお願いし、仙台フィルの直接支援を下記のとおり行うこととしました。

記

1. JOFCのプロオーケストラを応援するという目的から、現在各所で行われている義援金募集と同じことをしても意味がない。
2. JOFCとして仙台フィル支援を目的として各クラブでオーケストラと連携、または単独で義援金を募る。
3. 義援金は、各クラブとオーケストラの連名、または単独で直接支援する。
4. 各クラブの名称は、「日本プロオーケストラファンクラブ協議会会員「各クラブ名」」とする。



2 各クラブの取り組み

(1) 札幌響くらの取り組み

札幌響くらは、仙台フィルハーモニー管弦楽団（仙台フィル）及び仙台フィルハーモニークラブ（SPC）への支援についてどのようなことができるか検討していましたが、札幌交響楽団（札幌）から仙台フィルの直接支援について、札幌は「仙台フィルの支援を」と仙台フィル支援に特定した義援金募集を行うことにした、については札幌響くらぶと一緒にできないか、との申し出があり、これまでの検討結果と合せて検討し、札幌響くらぶとして札幌と同一歩調で仙台フィルを直接支援することに決定しました。

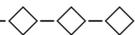
4月6日、JOF Cの決定を受けて、かねてより準備をしていた「被災地の仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さんに、いま、私たちができること。」と題した文書を同日、札幌響くらぶ会員へ送付し、義援金募集への協力を呼びかけました。

被災地の仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さんに、いま、私たちができること。

義援金は、4月末までで一旦締め切り、札幌交響楽団（札幌）と札幌響くらぶ（JOF C会員として）の連名で仙台フィルに贈ることにしています。

5月6日、札幌と札幌響くらぶでそれぞれ集めた仙台フィル支援義援金1,133,470円（うち札幌響くらぶは482,000円）を札幌と札幌響くらぶの連名で仙台フィルの口座へ直接送金いたしました。札幌はこれで仙台フィルへの義援金募集を締め切りましたが、札幌響くらぶは引き続き会員からの義援金を受け付け、6月末頃を目途に締め切り、単独で仙台フィルに義援金を贈る予定です。

7月7日、仙台フィル支援義援金を締め切り、それまでの会員からの募金70,000円を仙台フィルにお贈りしました。92名の会員から総額552,000円が寄せられました。会員の皆様の善意に感謝いたします。



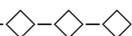
(2) 山響ファンクラブの取り組み

東北地方太平洋沖地震によりお隣の仙台フィルハーモニー管弦楽団（仙台フィル）の会場となっている仙台市青少年文化センターの一部が損壊して演奏会会場として使用できなくなりました。会場修繕のため6月まで演奏会の中止を余儀なくされ、仙台フィルは経営的に厳しい状況におかれています。しかし、仙台フィルの皆さんも自らも被災者でありながら、被災地や避難所での慰問コンサート（無料）など被災地の方々の精神的支援に立ち上がっております。

日本オーケストラ連盟、そして日本プロオーケストラファンクラブ協議会（JOF

C) では、全国のオーケストラ及びオーケストラファンクラブに対し、被災された仙台フィルへの活動支援を提起しております。これを受けまして、お隣の街のオーケストラとしてお互いに交流が深いこともあり、J O F Cに参加している山響ファンクラブとしても、仙台フィルの活動を支援することにし、4月10日次の文書を会員宛送付し、協力を依頼いたしました。

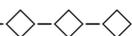
被災地の仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さんに、いま、私たちができること。



(3) 群響ファンの取り組み

群響ファンズでは群馬交響楽団より許可を得て、定期演奏会場に於いて仙台フィル支援の募金活動を行うことになりました。

群響ファンズでは定期演奏会場に於いて仙台フィル支援の募金活動を行うことを群馬交響楽団五十嵐常務理事さんに申し入れを致しました。その結果、当会が定期演奏会場に開いている群響ファンズのコーナーで当該募金活動を行うことの許可を得ることができました。これにより、5月の定期演奏会より同募金活動を開始致しました。また会誌を通じて会員へも同募金への協力を要請することにしております。



(4) 名フィル・ファンクラブの取り組み

名フィル・ファンクラブでは、会員及び幹事会におけるの意見集約、協議の結果、例年年会費から600円/会員数を名古屋フィルハーモニー交響楽団に寄付してきましたが、23年度については仙台フィルハーモニー管弦楽団に義援金として、名フィルファンクラブの会費より1人当たり600円、合計126,000円を贈ることに決定しました。